

発行:株式会社北海道しんきん情報サービス 〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811



## 新年のご挨拶

株式会社北海道しんきん情報サービス  
代表取締役社長

武田 大二郎



新年あけましておめでとうございます。

令和3年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。弊社の業務運営につきましては、日頃から温かいご支援を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、誰もが経験したことのない新型コロナウイルス・パンデミックに世界中が翻弄された一年となっていました。その影響は、ここで申し上げるまでもなく、今も収束の兆しはないまま新年を迎えております。

世の中は、ウィズコロナやニューノーマルという言葉が飛び交い、急速な変革を求められました。経営悪化を余儀なくされた業界が多数ある中で、企業によってはここをビジネスチャンスと捉えて業績を伸ばす会社も少なからずありました。もちろん業種にもよりますが、ここで環境に適応した正しい企業活動ができれば、大きく成長させるきっかけにもなり得るのは、過去にもあったニューノーマル、それは2000年代初頭のインターネットの本格的な普及であったり、リーマンショック後のCSRやSDGs等の企業責任追及への対応で見ることができます。

そして今回のニューノーマル、重要なのはDX(デジタルトランスフォーメーション)やテレワーク等への対応と言われております。既存のビジネスモデルは通用しなくなり、また新たな時代への突入となるわけですが、私の身近なところ、殊に信用金庫業界においては、これらの過剰な普及は個人的にはどうしても違和感を覚えてなりません。

現実問題、各メーカーと密接な関係にある当社にとって、テレワークが普及してしまったメーカーとのコミュニケーションは確実に薄くなってしまった感があります。各種会議はリモートで行われますが、単に報告会的なもの

でしかなくなり、真意が伝わらないもどかしさで、テレビ会議システムや種々システム化を推し進める会社として自らが存在しているながら、画面越しの会話の限界を痛切に感じたものです。

デジタル化やシステムは、適正な利用シーンでの活用は大変便利なものです。しかし、そこから一歩を越えることはなかなか難しい。機微な情報、微妙な感情や事情は、実際にその人を前にして、相手の「熱」を感じて初めて得られるものだと思います。それが得られずして、納得のいく仕事ができるとは思えません。

このような考え方自体が、昭和の古い思考回路からくるものなのかもしれません、私としては昨年一年を通じて改めて感じたことでした。

目下、新政権においては地銀や信金の経営統合や合併に対する補助金交付制度創設の動きが出るなど、業界に対して影響を及ぼすような話は後を絶ちません。

大きな時代の変化とともに、喫緊の諸問題は続発しますが、地域に根差し、Face To Faceで地域経済に貢献する信用金庫を縁の下で支える会社として、当社の存在意義は一貫して何も変わりません。確固たる信念のもと、微力ではございますが少しでもお役に立つよう一層のサービス向上に努めて参る所存でございます。

どうか引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、コロナ禍の一日も早い収束を願い、皆様にとりまして飛躍、発展の年となりますよう心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

株式会社北海道しんきん情報サービス  
システム検討委員会 委員長

田原 栄輝 (道南うみ街信用金庫 専務理事)



新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中のシステム検討委員会に対します格別のご高配に対し厚く感謝を申し上げます。

皆様におかれましては恙なく新しい年をお迎えでしょうか?

現世代には経験のない未曾有の事態に直面する中で、何を以て「恙ない」のかさえ判然としませんが、本稿執筆時点では米国を筆頭に感染者は増え続け、世界各国においても収束の兆しは一向に見えず、我が国においてもまさに第3波の到来として北海道が全国ニュースでも大きく取り上げられています。

皆様がこれを目にする頃に世界がどうなっているのか、東京オリンピックは開催できるのか、は知る由もありませんが、このコロナ禍の1年を経て衆目の一一致するところは、「新しい生活様式」が提唱され、人の距離を保つこと、集合することを避けるため、オンライン・デジタル空間の活用が一足飛びで進展したことでしょう。

在宅勤務やリモートの活用等も効用ばかりではなくデメリットも認識されている中、そもそも正しい対処なのか、今後も世間一般に定着していくのか、等の判断には今暫くの時間が必要とは思いますが、デジタル化の加速により行政のDXが革新的に進捗し、急進的に金融行政のレジームチェンジが実現することとなれば、金融機関を取り巻く環境の変化も、これまで想定してきた段階を経ることなく早送りとなるかもしれません。

“You must change to remain the same”

「変わらずにいるためには変わらなければならない」

私が生まれた年の古い映画の台詞ですが、人の「つながり」と「協力」で形成される協同組織金融機関として、相互扶助の理念を「新しい生活様式」の中で発揮していくためにあらためて胸に刻みたい言葉です。

昨年は、目に見えないウイルスに只々翻弄され、各地で開催されるお祭りや金庫行事が悉く中止となり、季節感を感じることなく1年が過ぎ去ってしまいましたが、振り返ってみれば、これでもかと言わんばかりに咲き誇る遠巻きに見るしかなかった五稜郭公園の桜も、深く碧い夏の津軽海峡も、赤く燃える江差の嵐に沈む夕日も、競うように色付いた香雪園のもみじも、青く遠い冬隣の空も、目に見える世界は何ら変わっていなかつたことに気づかされます。

システム検討委員会活動も不本意なものとなっていましたが、“withコロナ”が「ニュー・ノーマル」となっているであろう、まだ見ぬ“beyond the感染症”の時代を見据え、出来なくなつたことを数えるのではなく、出来ることを探求し、「不易」を守るための新たな「流行」について意見交換ができるよう活動方法を模索して参りますので、本年もご支援、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

結びに、新しい年が皆様にとりまして輝かしい1年となりますこと、1日も早く皆で参集のうえ乾杯できる日が来ますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# イメージデータ保存・検索システムの機能追加について

当社「イメージデータ保存・検索システム」につきまして、機能追加の実施が正式に決定いたしました。(近日中ご案内文書送付予定)

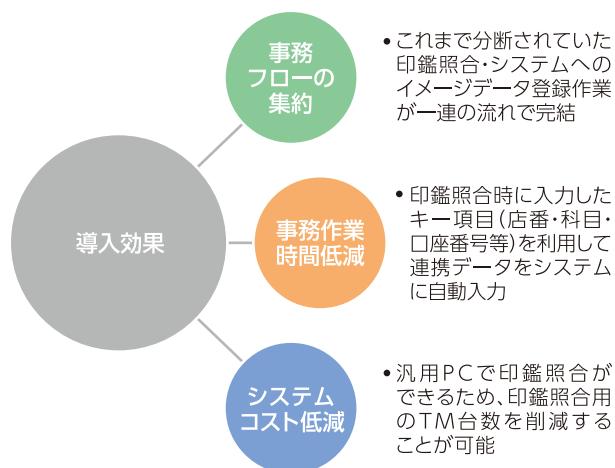
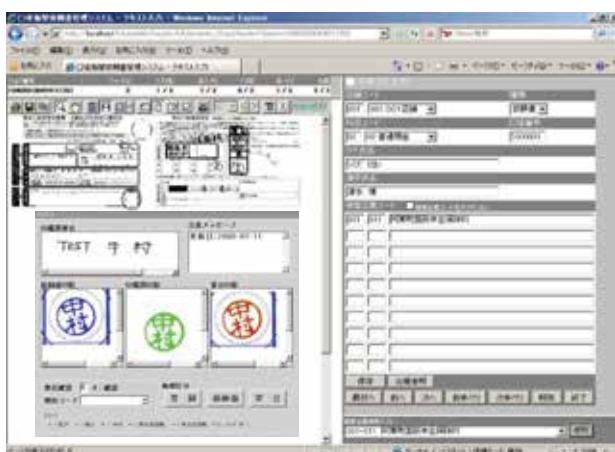
口座振替依頼書の印鑑照合機能、不備のあった口座振替依頼書のイメージデータ登録機能、本人確認記録書のOCR登録機能を追加いたします。

## 機能追加概要

### ① 印鑑照合機能追加

金庫Bizサーバ(または統合サブサーバ)と連携して印影の参照・照合を行い、照合ができた依頼書を自動で当システムへアップロードします。

システムへイメージデータをアップロードした後のテキスト入力は、印鑑照合時のデータを自動入力するため入力作業負担が軽減されます。また、口座振替依頼書の印鑑照合からシステムへのイメージデータ登録・検証までの一連の流れが1台の端末で完結します。



### ② 不備依頼書のイメージデータ登録機能

当社システムでは不備のあった口座振替依頼書については、イメージデータを登録することができません(不備事由等のテキスト入力のみ可)でしたが、テキスト入力時・印鑑照合時または専用メニューのいずれからも不備依頼書のイメージデータを登録することが出来るよう開発中です。

### ③ 本人確認記録書のOCR登録機能

イメージ書類管理メニューにおいて、本人確認記録書(共同センター帳票)をOCR機能で読み取り、システムに自動入力する機能を実装いたします。

帳票種別をOCR機能で判別し、指定した項目からキー項目を読み取ります。読み取ったキー情報をもとに元帳連携して必要な情報を取り込みます。

確 認 記 録 書 ( 1 )			
店番	001	顧客番号	0117082
本人特定事項	氏名 (姓、地名等の場合は、姓を含む) 氏名 住居 法人※ (会社名) 名称 所在地 〒 060-0042 北海道札幌市中央区大通西 7 丁目		
	生年月日 M T S I R 年 月 日 設立年月日 M T S I R 62 年 9 月 25 日		

本システムは共同利用型ではございますが、上記追加機能はそれぞれ金庫によって利用有無を選択いただくことが出来ます。費用につきましては利用金庫で按分いただくことで価格を低減する事が可能ですので、是非ともご利用をご検討のほどよろしくお願ひいたします。

本システムにご興味をお持ちの金庫様は企画・営業推進グループ宛までお気軽にお問い合わせください。 ☎ 011-221-2210

## TOPICS.2

# 為替集中システムの更改について

為替集中システムにつきましては、現在運用しているシステムが、2015年5月に更改してから5年を経過し、ハード保守部品もなくなるため、2021年10月に新システムへ更改することといたしました。

更なる事務ミス防止策、機能改善や新規機能(新規サービス概要1、2)を取り入れ、信頼性の高い仮想サーバに構築することで取り進めております。

## 全体スケジュール 全金庫稼働 2021年10月頃

### ■ 事務ミス防止策

1件の振込依頼書に2人のオペレータが作業を行い、結果が一致したデータを為替発信しています。  
現在は、同じ作業を行っているものを、一人目のオペレータが全て手入力で処理を行い、二人目のオペレータが過去の学習機能(実績)もしくはOCR読取値を使用し処理を行う方法に変更します。  
異なった入力方法にて2人が処理を行うことでミスを軽減します。

### ■ 取扱帳票

旧システム(2015年4月まで稼働)で使用していた緑系の帳票は、現行システムでは、取扱えるようにしておりますが、取扱枚数が減少したことから新システムでは赤系のみの帳票を取扱いするよう変更します。  
帳票色が1色の取扱いになり、誤読が減ることでミスを軽減します。



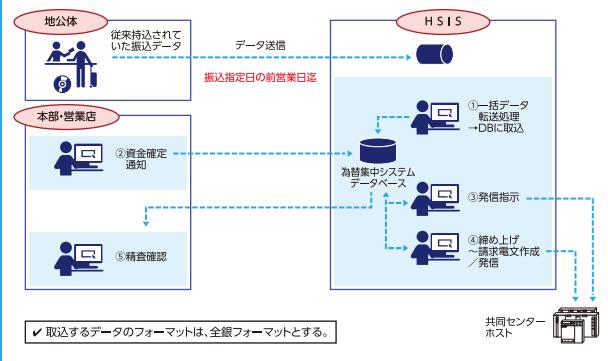
### ■ 新規サービス概要

#### 1. 総合振込依頼書の再作成依頼方法

営業店設置の為替専用端末\*または、本部照会用端末\*により作成依頼内容を登録できるようにします。  
登録されたデータを為替センターで印刷・発送します。  
(※Windows10端末に限り取扱可能)

#### 2. データ伝送による振込処理の取扱い

地公体から信用金庫に持込まれている振込データ(媒体)を直接為替システムへデータ伝送(取込)し、しんきん共同センターホストへ発信する取扱いを開始します。



お問い合わせ先 ☎ 011-233-1247 (為替集中グループ)

## TOPICS.3

# ホームページ開設のお知らせ

本年8月より当社ホームページを開設いたしましたのでご報告申し上げます。

前回号でもご案内させていただきましたとおり、本サイトでは、当社のご提供システムや商品に関する情報、当社活動情報等も随時更新いたします。また、社内風景や社員紹介など、普段はなかなかお見せできない面も掲載させていただいております。

お時間がございましたら、是非ご覧いただければ幸いに存じます。

### アクセス方法

<https://www.shinkin-hsis.com/>



発行：株式会社北海道しんきん情報サービス

〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811